

平成29年度事業について

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

法人の概況

- 1：名称等 公益社団法人日本植物園協会
Japan Association of Botanical Gardens（略称 JABG）
- 2：設立等 昭和41年4月11日（法人成立の年月日）
平成25年4月1日付けで公益社団法人に移行
- 3：目的等 全国的な植物園ネットワークを通じて、植物園及び植物に関する文化の発展と科学技術の振興並びに自然環境の保全に貢献し、人類と自然が共生する豊かで持続的な社会の実現に寄与することを目的とする。
（定款第3条）
- 4：事業内容 定款第3条の目的を達成するため次の事業を行う。（定款第4条）
（1）植物園及び植物に関する調査・研究及び資料収集
（2）植物園及び植物に関する教育並びに普及啓発
（3）植物多様性の保全活動
（4）植物園に関する支援
（5）その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 5：監督機関 内閣府公益認定等委員会
- 6：事務所所在地 〒114-0014 東京都北区田端 1-15-11 ティーハイムアサカ 201
- 7：公益目的事業
公1 植物園及び植物に関する科学技術の振興や自然環境の保全と文化の発展に貢献するための調査及び研究
公2 植物の栽培や自然環境の保全等についての教育及び普及啓発
- 8：収益事業等 なし

事業の状況

I：植物園及び植物に関する科学技術の振興や自然環境の保全と文化の発展に貢献するための調査及び研究（公1）

(1) 調査及び資料収集

1. 海外事情調査

調査先はインドネシア。調査期間は平成29年11月12日～17日の6日間。参加者負担金は165千円。主な調査内容は、ボゴール植物園・チボダス植物園・国立フラワーガーデン（Taman Bunga Nusantara）・トロピカルフルーツガーデン（Taman Buah Mekarsari）・朝市の見学等及び表敬訪問。岩科司隊長（国立科学博物館筑波実験植物園）を含む15名が参加した。

2. 植物園概要

正会員のデータ更新の実施、概要データは植物園ライブラリに掲載。

3. 国際活動

4月24～28日に開催されたSEABGN（東南アジア植物園ネットワーク）会議に國府方吾郎氏が出席した。5月18～19日ボゴール植物園開園200周年の記念式典に岩科会長が出席した。7月に中国深圳で開催されたIABG会議に参加し、邑田常務理事がIABG評議員に選任された。

(2) 生物の多様性保全

1. 種苗交換

平成29年度は正会員18園から寄せられた情報をもとに種苗交換植物リスト（分譲140種を掲載）を作成。リストには植物多様性保全事業における「絶滅危惧植物種の種苗交換」を一緒に掲載し、正会員に斡旋を行った。「絶滅危惧植物の種苗交換」は、種子保存拠点園である環境省新宿御苑がとりまとめとリスト作成（リスト提供園数7園、51種掲載）を行い、リスト小冊子は正会員に2月初めに配布した。また、適宜、各園から案内のあった種苗提供をメール連絡で行った。

2. 植物多様性保全拠点園事業

① 絶滅危惧植物保有状況調査

52回大会にて経過報告を行った。植物園での絶滅危惧種の生息域外保全状況に関する問い合わせに対応を行った。2018年から行う第4回保有状況調査に向け準備を行った。

② 絶滅危惧植物保全データベース

データベース分科会を3回開催。データベース活用促進の検討や環境省連携事業での収集デ

ータと連動して情報を収集した。3月現在 2,224 種中 647 種入力済み(スクリーニング中含む)。

③絶滅危惧植物の情報取り扱い検討

種苗交換時に「絶滅危惧植物の情報取り扱いガイドライン」を配布するなど、ガイドラインの周知を図った。

④植物多様性保全拠点園ネットワーク活動

- ・種子採集と種子保全拠点園(新宿御苑)での絶滅危惧植物の種子保存を行った。
- ・新規に白馬五竜高山植物園が地域野生植物保存拠点園になり、3月から沖縄美ら島財団が種子保存拠点園としての登録を追加した。
- ・ニューズレター23号(9月)、24号(12月)、25号(3月)を発行した。
- ・関東拠点園会議を開催:6/1、12/12、3/13(新宿御苑)
- ・西日本拠点園交流会を開催:8/26(武田薬品工業(株)京都薬用植物園)
- ・中部植物多様性保全拠点園連絡会議を開催:6/4(東山植物園)。同時開催として、保全技術研修会(名古屋市守山区中志段味才井戸流の見学、東山再生フォーラムの講演会聴講)を実施した。
- ・絶滅危惧植物の種苗交換:7園から51種の提供があり、リストを作成して斡旋した。
- ・東北津波被災地の絶滅危惧植物保全の支援として植物園での希少野生植物の系統保全等の協力依頼を行った。

⑤外来植物対策

- ・外来種対策分科会でメール会議により問題となっている外来植物の実態把握や検討を行った。
- ・外来種問題に関する周知活動を行った(H29植物地理・分類学会ポスター発表、H30合同講演会「富山の外来生物」での講演等)
- ・特定外来種オオキンケイギクと非指定種ホソバハルシャギクに関する調査を継続した。

3. ナショナルコレクション活動の展開

委員会を2回開催し、メール会議を重ねてナショナルコレクション認定の手順や内容等に関する詳細を検討・決定した。本年度よりナショナルコレクションの募集と認定を開始し、平成29年度は5件の申請があった。そのうち1件が辞退、1件は現地視察を経た審査が完了し、その他は審査中である。なお、29年度事業は、公益財団法人山口育英奨学会の平成29年度自然環境保護活動助成を受けて実施した。

4. ワシントン条約にかかる寄託管理事業

経済産業省との「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約(ワシントン条約)に基づいて任意放棄され、取得した植物に係る保護及び育成の寄託管理契約」に基づき、経済産業省から寄託された植物の保護育成を行った。本事業は平成7年から継続、平成29年度の寄託依頼植物数550株、29年度末の保護育成管理園27園、年度末の総保護数4,244株。

5. 環境省連携事業

環境省より平成 29 年度希少野生植物の生息域外保全検討実施委託業務を受託し、当協会内の「環境省連携事業」として実施した。本事業は植物多様性保全委員会内に設置した環境省連携事業分科会が担当し、事業推進にあたった。委託業務は下記 4 つの項目について実施した。

- (1) 国内希少野生動植物種等の生息域外保全手法の検討
- (2) 国内希少野生動植物種等の生息域外保全の実施
- (3) 種子保存に関する検討
- (4) 生息域外保全情報管理システムに関する検討

6. その他、生物の多様性保全に関する活動

■環境省との基本協定書に基づく事業

- ・国内希少野生動植物種等の栽培・保有状況の調査結果を環境省野生生物課に報告した。
- ・環境省連携事業を実施した。

■「国連生物多様性の 10 年日本委員会」の委員として、広報等への協力を行った

(3) 学術や文化の振興

1. 第 52 回大会行事

担当：大阪市立大学理学部附属植物園

会期：平成 29 年 6 月 7 日（水）～9 日（金）

会場：大阪市立大学杉本キャンパス・植物園

実施内容

- ・定時総会
- ・協会表彰（3 名、1 園）
- ・分野別会議
- ・委員会活動報告（環境省・種の保存法の改正による「認定希少種保全動植物園等」制度の創設について、植物多様性保全委員会、ナショナルコレクション委員会、教育普及委員会、将来計画検討委員会/植物園シンポジウム企画委員会、国際交流推進委員会・海外事情調査報告）
- ・意見交換会
- ・植物園研修：附属植物園ガイド
- ・研究発表会 日時：平成 29 年 6 月 8 日（木）9:15～12:00
内容：口頭発表 7 題、ポスター発表 12 題
- ・平成 29 年度 大阪市立学国際学術シンポジウム「人と植物の共生—都市の未来を考える—」
日時：平成 29 年 6 月 10 日～11 日
場所：大阪市立大学・田中記念館ホール／大阪市立自然史博物館講堂

2. 植物研究会・技術者講習会

■第1回技術者講習会

担当：東京大学生態調和農学機構

期日：平成29年7月6日（木）～7日（金）

参加者：25名

テーマ：「花ハスの品種特性」「人が創る武蔵野の林、自然が創る武蔵野の林」

見学：人が創る武蔵野の林 里地里山エリア

自然が創る武蔵野の林 長期生態系プロット

田無演習林の木本植物

田無演習林の社会連携活動と森林管理

ハス見本園

講義：花ハスの開花期間の品種特性

DNA分析による花ハス品種の分類

ハス品種特性の観察（実習）

江戸期の園芸文化としての花蓮

■第1回植物研究会

担当：越前町立福井総合植物園

期日：平成29年10月4日（水）～5日（木）

参加者：16名

講演等：

「福井県の植物」の解説（越前町立福井総合植物園長 松本 淳）

「恐竜時代の植物化石図鑑の制作」（福井県立恐竜博物館 主任研究員 寺田 和雄）

現地視察：越前町立福井総合植物園、福井県立恐竜博物館、恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク

■第2回技術者講習会

担当：東南植物楽園

期日：平成29年10月26日（木）～10月27日（金）

参加者：12名

テーマ：国内では珍しい熱帯植物の屋外展示を主とした東南植物楽園の園内環境や栽培管理についての解説及び本島北部のトレッキングツアーを通して、沖縄の植生や環境について知り、情報交換を行う。

内容：『露地植え熱帯植物の管理と台風対策』、『ブーゲンビレアの栽培管理について』、『本島北部ター滝トレッキングツアー』

3. 「日本植物園協会誌 第52号」

日本植物園協会誌第52号（A4判124ページ、480部）を発行した。会員への配布のほか、全国の都道府県立図書館に寄贈した。

4. 分野別活動

■第1回目の分野別会議は、52回大会開催時にそれぞれの分野で実施した。

■第1分野（第53回国立大学植物園長会議・植物園協会第一分野拡大施設長会議）

担当：広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所

期日：平成29年12月5日（水）

参加者：7名（オブザーバー参加2名）

議題等：1) 各園の近況について 2) 教育利用のための相互協力について

■第2分野（第35回国公立植物園運営会議）

担当：東京都夢の島熱帯植物館

期日：平成29年9月21日（木）～9月22日（金）

参加者：40名

テーマ：1日目：植物園(館)集客対策

2日目：植物園協会の会員メリット・サービスを考える」

各テーマともアンケート調査を行い、事例報告及びディスカッションを行った。

視察：夢の島熱帯植物館バックヤード・試食ブース見学、館内ガイド

■第3分野

担当：住友林業緑化株式会社

期日：平成29年9月14日（木）～9月15日（金）

参加者：6園（10名）

議題等：1) 各園近況報告、2) 次年度各園の活動予定、3) 第3分野の取組課題、4) 次年度以降の協会事業予定その他

視察：晴海アイランドトリトンスクエア、三井住友海上駿河台ビル、大手町界限都市緑化施設（大手町フィナンシャルシティ、読売新聞ビル、大手町の森、仲通り街路樹、JPタワー）

■第4分野

期日：平成29年9月8日（金）

場所：東邦大学薬学部（第64回日本生薬学会会場）

参加者：5名

議題等：1) 次年度以降の技術者講習会について、2) 薬草ガイドブック、3) 出版事業基金について、4) その他

会議終了後、東邦大学薬用植物園の見学と生薬学・天然物化学教科担当教員会議との合同意見交換会を行った。

Ⅱ：植物の栽培や自然環境の保全等についての教育及び普及啓発（公2）

(1) 講演会・シンポジウム・展示会

1. シンポジウム、講演会等

①植物園シンポジウム（共催）

「江戸の花 さくらそう 園芸文化シンポジウム」

期日：平成29年4月23日（日）

会場：東京都神代植物公園

②江戸の園芸文化を守ろう（共催）（公社）園芸文化協会（公財）東京都公園協会

「江戸の園芸朝顔作りABC」 期日：平成29年6月2日（金）

「江戸の朝顔 歴史と鑑賞」 期日：平成29年7月8日（土）

「朝顔の鑑賞と奥義を聞く」 期日：平成29年8月1日（日）

③特別講演会「私たちの植物園 ― 今 そしてこれから」

期日：9月16日（土）

会場：東京大学農学部弥生講堂

参加者：259名

主催：公益社団法人日本植物園協会

共催：国立科学博物館、Flora Japonica 実行委員会

後援：朝日新聞社 協賛：東芝財団

演題

「21世紀の植物画」山中麻須美（英国王立キュー植物園 専属植物画家）

「21世紀における植物園の目的」リチャード・ディヴェレル（英国王立キュー植物園園長）

「日本植物園協会の震災復興支援活動」榎本 浩（東京都夢の島熱帯植物館 館長）

「日本植物園協会の植物多様性保全活動」遊川知久（国立科学博物館筑波実験植物園）

「21世紀における公立植物園―高知県立牧野植物園では―」

水上 元（高知県立牧野植物園 園長）

④第14回植物園シンポジウム「江戸時代の妙薬と薬草」

期日：平成29年11月11日（土）

会場：内藤記念くすり博物館附属薬用植物園

参加者：325名

基調講演

「江戸時代の妙薬と薬草～水戸黄門の救民妙薬をひもといて」

東京薬科大学名誉教授 指田 豊

事例発表「江戸時代の薬草を未来につなぐ植物園」

「加賀藩の伝統薬とそれらにつながる現在の取り組み」

金沢大学医薬保健学域薬学類・創薬科学類附属薬用植物園 准教授 佐々木 陽平

「人類の宝を次世代に伝える～薬草ネットワーク」

岐阜薬科大学薬学部 教授・薬草園園長 酒井 英二

「水戸黄門と薬草を未来につなぐ～水戸市と養命酒の協働事業」

水戸市植物公園 園長 西川 綾子

※第14回植物園シンポジウムは公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会から助成を受けて実施した。

2. 展示

①「新宿御苑みどりフェスタ」(平成29年4月29日)に出展した。

(2) 普及啓発資料の発行

1. ガイドブック、書籍

日本植物園協会第四分野が作成した『薬草ガイドブック』シリーズの頒布を行い、児童生徒、学生、幅広い市民への知識向上や薬用植物を中心とした植物と文化に関する普及啓発を行った。出版事業基金を活用し「薬草ガイドブック 薬草園へのいざない」3,000部、「台所の薬草ガイドブック」5,000部を増刷した。

(3) 普及啓発資料の提供

1. パネル・データ貸出

生物多様性・植物の保全等を目的としたパネルデータの活用促進に努め、2件の利用があった。

2. 植物園資料ライブラリの運営・更新

(4) キャンペーン

1. 「植物園の日」事業

広報資材(ノボリ)を追加で配布(4園)し、協会ホームページの投稿欄に関連行事案内を掲載した(2件)。教育普及委員会により「植物園の日」に関するアンケート調査を行った。

※総務省統計局のWEBサイト「なるほど統計学園」の「今日は何の日?」のページに5月4日の説明として掲載された。

2. 絶滅危惧植物マーク広報

マーク制定の意義を訴え、マークの活用を促進した。

3. 自然災害被災地復興支援事業

①東日本大震災被災地支援のため「花を届ける夢の折鶴プロジェクト」を東京都夢の島植物館が継続して推進し、4月に折鶴の贈呈式等を行った。

(5) 表彰

1. 表彰

植物園功労賞 2名

西元 靖志 氏（大阪市立大学理学部附属植物園）

磯見 吉勝 氏（京都府立植物園）

坂崎奨励賞 1名

魚住 智子 氏（宇治市植物公園）

Aboc・CULTA 賞 1園

日本新薬株式会社山科植物資料館（京都市）

Ⅲ：目的の達成に必要な関連事業

1. 後援及び協賛等

【共催】2件

①公益財団法人東京都公園協会神代植物公園サービスセンター

江戸の花・さくらそう 園芸文化シンポジウム

②越後雪割草街道連絡会

フラワートークショー2018

【協力】2件

①一般財団法人沖縄美ら島財団

琉球の植物展～国立科学博物館巡回ミュージアム in 海洋博～

②一般社団法人日本公園緑地協会

平成29年度「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会

【後援】9件

①フラワー・ブラボー・コンクール実行委員会

平成28年度フラワー・ブラボー・コンクール（FBC）

②IUCN ラン専門家部会日本支部

第10回「みんなで守ろう日本の野性ラン」シンポジウム

③公益財団法人豊橋みどりの協会

絶滅危惧植物展

④公益財団法人広島市みどり生きもの協会

特別企画展「毒と薬は紙一重」

⑤公益社団法人日本動物園水族館協会

種保存会議シンポジウム

⑥クリスマスローズの世界展実行委員会

第16回クリスマスローズの世界展

⑦兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」

淡路夢舞台ラン展 2018 ランコンテスト

⑧沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

平成 29 年度沖縄国際洋蘭博覧会

⑨柳田地区山村活性化協議会

北前船でつながる花文化 ～のとキリシマツツジ展～

2. ホームページ活用及び広報活動

・公益法人として必要な公開情報の更新、各事業等の告知等のため、協会ホームページの更新を行った。

・4月に JABG ニュース（3 ページ）を会員に配布した。

3. 諸会議

1. 第 52 回定時総会

日時 平成 29 年 6 月 7 日（木）

会場 大阪市立大学 学術情報総合センター

議題 第 1 号議案 平成 27 年度決算、第 2 号議案 役員を選任

第 3 号議案 名誉会員の推挙

報告 第 1 号報告 平成 28 年度事業報告、第 2 号報告 平成 29 年度事業計画

第 3 号報告 平成 29 年度収支予算、第 4 号報告 社員等の異動状況

2. 役員会・委員会等

【理事会】

第 1 回臨時理事会 平成 29 年 5 月 7 日（書面）

第 1 回通常理事会 平成 29 年 6 月 7 日 大阪市立大学 学術情報総合センター

第 2 回臨時理事会 平成 29 年 10 月 16 日（書面）

第 3 回臨時理事会 平成 29 年 12 月 14 日 事務局

第 2 回通常理事会 平成 30 年 3 月 13 日 事務局

【執行役員会】（代表理事と業務執行理事による会議）

第 1 回執行役員会 平成 29 年 5 月 12 日 事務局

第 2 回執行役員会 平成 29 年 8 月 21 日 事務局

第 3 回執行役員会 平成 30 年 1 月 24 日 事務局

【監査】

・平成 28 年度事業について平成 29 年 4 月 27 日に榎本監事、水上監事の 2 名による監査を実施した。

【委員会】

・植物多様性保全委員会

第1回委員会（6月8日 大阪市立大学 学術情報総合センター）

・絶滅危惧植物保全データベース分科会（会場 新宿御苑）

第1回会議（6月1日） 第2回会議（12月12日） 第3回会議（3月13日）

・ナショナルコレクション委員会

第1回委員会（6月8日 大阪市立大学 学術情報総合センター）

第2回委員会（11月29日 神代植物公園）

・協会表彰候補者選考委員会

第1回委員会（3月13日）

・植物園シンポジウム企画委員会

第1回打合せ（8月1日 緑と水の市民カレッジ）

・教育普及委員会準備会

第1回委員会（2月9日 国立科学博物館）

・選挙管理委員会

第1回委員会（11月7日） 第2回委員会（12月7日）

4. その他

【関連団体等との連携、提携、協力】

1) 2019年に京都市で開催される ICOM 京都大会の組織委員会（委員：岩科会長）に参画し、会議に参加、情報交換等の協力を行った。

2) 国連総会が定めた3月3日の「世界野生生物の日」に関連して、環境省と経済産業省が行った普及啓発活動に、パネル展示等で協力した。（3月9日時点で16園の展示協力）

3) 2018年9月に開催される第1回日中友好園芸文化学術交流大会（主催：一般社団法人緑之日中友好文化学術交流即促進協会、中国植物園連盟、上海辰山植物園）の参加等について検討を行った。

平成29年度事業報告 附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。